

異星人伝説

日本評論社・本体価格 二九〇〇円

盛田常夫編訳

マルクス・ジョルジュ著

天才を量産したハンガリー 再認識すべき教育の重み

評者 北村行伸・一橋大学経済研究所助教授

文部科学省はわが国の研究水準を国際レベルに引き上げるためにトップ三〇校構想を打ち出し、ノーベル賞受賞者を大量に輩出できるような環境づくりを進めることを公言している。

しかしながら、わが国の多くの識者はこのような政策には否定的である。いわく、ノーベル賞をとるために研究を進めるものではないし、研究費や研究環境を整えるだけでは独創的な発想は生まれてこないということである。

それはまさに正論であるとしても、われわれが受け入れなければならぬのは、人間のある種の優位性は、地理的、時代的人種的に偏在するという事実である。

具体的な例を挙げれば、オリンピック陸上一〇〇キロ走の決勝にはいくつかの国の代表が残っているように見えるが、見方を換えれば、ほとんど西アフリカにルーツを持つ人たちである。

同じく陸上長距離では、東アフリカの高地の出身者が上位を占めている。学問のほうに目を移せば、ノーベル賞受賞者はアメリカやイギリスが多くの受賞者を送り出しているが、別の見方をすれば、その大半が東欧にルーツを持つユダヤ人たちなのである。

本書は学問、とりわけ科学の分野で、イタリア・ルネッサンス以来の天才の量産が一九世紀末から二〇世紀初頭にかけてハンガリーの首都ブダペストを中心に起こったということを示し、また、その理由を説明しようとしたきわめて興味深い報告書である。

教育は未来への最高の投資

そのなかには、二〇世紀最高の頭脳を持ち主であったとだれもが認めるジョン・ファン・ノイマンや放浪の数学者として知られ、生涯に一五〇〇本近くの論文を書いたポール・エルデシ

ユ、原水爆の開発に貢献したエドワード・テラー、ビタミンCを発見してノーベル医学生理学賞を受賞したアルバート・セント・ジョルジ、非協力ゲーム理論でノーベル経済学賞を受賞したジョン・ハルシュタットなど二〇人の取材と調査に基づく評伝が含まれている。

どうしてこのようなキラ星のような天才がわずかに五〇年足らずのあいだにハンガリーから輩出されたのであろうか。著者はハンガリーのユダヤ人という人種的、地政学的理由のほかに、

ギムナジウム（高等学校）がきわめて優れた才能発見、発達システムを持っていたことを明らかにしている。

評者はとりわけ以下の二点が重要なポイントであると思う。第一は高校教師が生徒に対して最大の教育的配慮を払い、学問そのものへの熱意を伝えていたということ。第二にとりわけハンガリーにおいては博士号を持つ高校教師が多数いて、彼らが学問への橋渡しの役割を担い、優れた高校生は一人前の研究者として扱っていたということである。

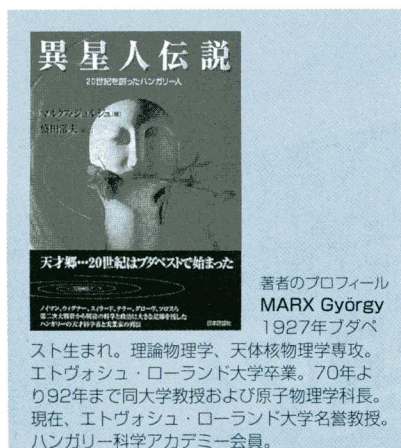
ノーベル化学賞を一九九四年に受賞したハンガリー・ブダペスト生まれのジョージ・オラーは、ハンガリーの将来に望むこととして次のように述べている。「二一世紀が近づいている。国の将来は

この本の目次

- 第1部 異星人伝説
- 第2部 異星人列伝
 - カルマン、テオドール
 - ヘヴェシ、ジョージ
 - スライヤー、レオ
 - ウィグナー、ユージン
 - テラー、エドワード
 - ノイマン、ジョン
 - エルデシ、ポール
 - ランツォシュ、コルネリウス
 - ケメニ、ジョン
 - グロヴ、アンドゥリュウ
 - ソロス、ジョージ
 - ケストラー、アーサー
 - ハルシュタット、ジョン
 - ペーケーシ、ジョージ
 - バイ、ソルタン
 - セントージョルジ、アルバート
 - オラー、ジョージ
 - クルティ、ニコラス
 - ガポール、デニス
 - セベヘイ、ウィクター
- 第3部 黄金時代のハンガリー
 - 第1章 ハンガリーのギムナジウム
 - 第2章 教育の伝統
 - 第3章 科学の伝統とエトヴォシュ協会

若者の教育にどれほどのものを提供できるかにかかっている。教育は未来への最高の投資だ。非常に競争的な時代に突入しているからこそ、これが重要になっている。人は読むことから学ぶだけでなく、コンピュータを使つて学ばなければならない。科学は国際的な事業で、一国だけでは発展させられるようなものではない。しかし、自然資源に恵まれていない国では、もっとも重要な資源が人間そのものなのだ」(二五七頁)

この言葉はほとんどがそのまま日本にも当てはまるだろう。もちろん、大国の狭間で翻弄されながら生きてきたハンガリー人と島国で比較的のほほんとしてきた日本人とは、人生観や現実に対する感性も違うだろう。日本人はその与えられた環境のなかで新たな比較優位を見出し、そこに集中して教育のエネルギーを投入すべきではないだろうか。



著者のプロフィール
MARX György
1927年ブダペスト生まれ。理論物理学、天体核物理学専攻。エトヴォシュ・ローランド大学卒業。70年より92年まで同大学教授および原子物理学科長。現在、エトヴォシュ・ローランド大学名誉教授。ハンガリー科学アカデミー会員。